

== 国語（中）部会 ==

I. 会場 全体会場および授業視聴会場：江別市立中央中学校

II. 研究主題 主体的な思考・判断・表現を伴う学びの創造
～記述と対話を中心とする言語活動の工夫を通して～

III. 日程 令和3年10月15日（金） 13:00～16:40

12:50 13:00 13:50 14:50 15:10 16:10 16:20 16:40

受付	全体会	授業視聴および研究協議	休憩	分科会	休憩	整理委員会
----	-----	-------------	----	-----	----	-------

※全体会の中で、レポートの丁合を行います。

※分科会についてはレポート交流等を考えています。

IV. 公開授業

	授業者（会場）	司会	記録
1年生	櫛引 澄香（第三中）	事務局	浜崎東子（大麻東中）
2年生	鶴谷 生実（江陽中）	事務局	岡塚紀彦（第二中）
3年生	浅野 克実（大麻中）	事務局	板橋友子（野幌中）

V. 全体会および分科会運営、交流内容

1 全体会（会場：江別市立中央中学校 各教室：放送等で実施）13:00～13:50

(1)部長挨拶 (2)江教研国語中部会部長挨拶 (3)授業者の紹介 (4)授業研究協議について
(5)理論研修会報告 (6)教育課程委員より (7)弁論部門担当者から (8)当日持ち込みレポート丁合

2 分科会（会場：江別市立中央中学校 各教室）15:10～16:10

<内容> ・学年ごとに分かれてのレポート交流

・日頃の実践についての交流

（生徒の思考・判断・表現の力を育てる授業の在り方、評価の在り方等について）

VI. 出席者の準備

・一人1レポートの提出

<様式> A4サイズ・縦置き・横書き 両面印刷で100部

<内容> ・個人レポートについては「教科書教材（学年ごと）についての実践研究」を原則とするが、部会員の研究に資するものであれば「教科書教材以外についての実践研究」の内容も可とする。また過去の他者のレポートの追実践でもかまわない。その場合、基にしたレポートを明記する。

・レポートは、「単元を通して生徒に身に付けさせたい力」「単元の指導計画（略案）」「実践の振り返り」の3つをまとめる。

<提出> 9月中に各市町村で集約し、推進委員は二次研究協議会事前研修会に持参する。

（各部会員の当日持ち込みも可としますが、できるだけ事前に提出ください。）

<当日の持ち物>

上靴・担当学年の教科書・レポート（当日持ち込みの方）・『石狩の教育』第66集

（文責 本間 幹英）